



諸岡さんの紅はるか



芋掘りが終わり一段落した諸岡さん。次は人参掘りです。



ハウスの中に保管庫を作り、さらにムシロやもみ殻で断熱して寒さから守ってあげます。



さつまいもはツルをつけたまま保管します。そうすることで保管中も芽が芋から出にくいそうです。

★しっとり、とろり、甘くて美味しい

おかげさま農場はさつまいもの大産地です。土質がさつまいもに合っているとされており、今の時期はあちこちで芋を掘っている風景が見られます。

さつまいもは大体5月～6月頭ぐらいに植えつけ、暑い夏を乗り越えて秋に収穫します。今年の夏は例年に無いほどの猛暑で多くの野菜に被害が出ましたが、「芋の出来や収量はいつも通りだな」とのこと。飢饉の際の救荒作物として知られるさつまいもは、冷夏の年にも猛暑の年にも他の作物に比べると影響を受けにくいと言われていたのですが、今年の暑い夏も問題無かったですね。

そんな暑い夏を無事に乗り越えてすくすく育った紅はるかは、収穫してから1ヶ月寝かして熟成させるのがこの地域の習わし。「この辺りはそう決めたんだよ。他の地域は違うところもあるようだけどな。紅はるかは、掘り立てより寝かした方がデンプンが糖に変わって美味しくなるんだよ」寝かした紅はるかは、しっとり甘く、まるでスイーツのような味わい。まだ登録されて10年も経っていない品種ですが、その美味しさから人気は右肩上がりです。「紅はるかは甘さや食感が、ひと冬の間でも変化するよな。例えば今の時期に食うのと、1月に食うのでは味が全然違うよな」熟すほどに甘く、また食感もしっとりから年明けにはとろりとしてくる紅はるか。時期によって変わるその美味しさの変化を是非楽しんでみてくださいね。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎新人参は11/10(土)から出荷開始です。